

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ノイマン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	司書
オプション	サラマンダー	年齢	15	性別	女
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	30%
出自	天涯孤独	経験	UGNへの畏怖	邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	1			1	行動値	7
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	4	0	1			5	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉	3	
回避			知覚			意志	4	1	調達	4	
運転:			芸術:			知識: 出版	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
集中力過剰		10r+5				情報収集: 侵食5、C値10、HPロス3点
→侵食率60		11r+5				
→侵食率80		12r+5				
→侵食率100		15r+5				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
医療トランク	
思い出の一品	
アクセサリ	
コネ: 手配師	
携帯電話	
制服	
フォーマル	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D: 優しい奇跡	P	N		
《命の盾》	P 信頼	N 悔悟		
武司 槍次	P 執着	N 猜疑心		
藤宮 幽斗	P 尽力	N 偏愛		
黄泉還り事件	P 好奇心	N 猜疑心		
思い出の水鏡	P 執着	N 恐怖		
黒い霧	P 懐旧	N 恐怖		

最大財産P: 18 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
リフレックス: ソラリス	2	2	リアクション			シンドローム		
効果:	クリティカル値-LV (下限7)							
トランキリティ	3	3	メジャー/リアクション	至近	自身	【精神】		
効果:	判定ダイス+[LV+1]個、ただしHPロス3点を受ける							
命の盾	1	3	リアクション	至近	自身	〈交渉〉		
効果:	ドッジを行う							
ディヴィジョン	1	1d	オート	視界	単体		LV/シナリオ	
効果:	対象が受けるHPダメージを半分(端数切捨て)にし、この方法で軽減したのと同じだけのHPを失う							
生き字引	1	2	メジャー	至近	自身	〈意志〉		
効果:	情報収集判定、さらに判定ダイス+LV個							
氷壁	1	5	オート	至近	自身	〈RC〉	未行動→行動済み	
効果:	「射程: 視界」のキャラクターが行った攻撃の命中値と対決→勝利した場合攻撃を失敗させる							
快適室温	★		メジャー			自動		
効果:	シーン内の気温を任意に調節							
ドクタードリトル	★		メジャー			自動(交渉)		
効果:	あらゆる言語を使いこなし、動物とすら意思疎通を行える							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

矢口 朱 (やぐち あけみ)
 中の人: おぼろ アバター: 黒谷ヤマメ

生まれも育ちも門崎市の、UGN門崎支部に籍をおくエージェント。
 幼少期にシンドロームを発症、先代支部長である藤宮悠樹の保護観察下で育つ。
 その知識と集中力で異常とも言える後方支援能力を発揮、支部のブレインとして藤宮悠樹とともに門崎市の平和を守ってきた。
 そんな功績もあって、先代が失踪した際に周囲から次期支部長として指名を受けるが「家系優先!」などとのたまって藤宮悠斗にその座を押し付けた。
 (…が、これは彼女の抱える言い知れぬ恐怖がそうさせたものである。UGNという組織に対する"何か"が、彼女を支部長の座に就かせることを拒んだのだ)

世間には精神疾患(※)として通っており、一般の教育機関に通わずに専門の機関で治療を受けているということになっている。その一環として図書館で司書を務め、街の人々と交流することでリハビリを行っている…というカヴァー。
 休館日の図書館に入り浸り、蔵書を眺破るのがライフワーク。
 (曰く、"そろそろ二周目"だとか。ノイマン恐るべし)

どこで覚えたのか、自称"のじゃロリ"。
 威厳を見せたい時に使っているらしいが、たぶん何かを間違えている。
 …動物達と意思疎通するに当たって都合が良いのだろうか?